



エコ・ファーストの約束(更新書)

環境先進企業としての地球環境保全の取り組み

環境大臣 西村 明宏 殿

令和4年10月2日

三洋商事株式会社
代表取締役

河原林 令典

三洋商事株式会社は、産業廃棄物業界において、多数の電気・通信機器企業からの通信機器類の収集運搬および中間処理を取り扱う中核企業としての社会的責任を踏まえて、コンプライアンスを徹底するとともに、環境経営を通じて積極的に社会貢献するため、以下の取り組みを進めてまいります。



循環型社会の形成に向けた取り組みを推進していきます。

- 廃棄された通信機器類を手作業による解体により、素材をきめ細かく分解・分別することで、廃棄物の97%以上の再資源化率(リサイクル率)を維持・継続してまいります。
- 廃棄された通信機器類に含まれる希少金属等について、きめ細かい分解・分別により高付加価値の循環資源として回収を行い、市場に供給を行います。



自然エネルギーを利用した電力を積極的に活用します。

- 当社の消費電力については、大阪本社、奈良支店に導入している太陽光発電システムで自家発電を行うとともに、再生可能エネルギー比率100%の電力を使用し、使用電力によるCO₂排出ゼロの維持継続を約束いたします。
- 国内全体の再生可能エネルギー電力の拡大を目指し、2023年までに「再エネ100宣言 RE Action」に参加し、パートナーシップの強化や積極的な情報発信を行い、100%再生可能エネルギー化に向けた取り組みを推進します。



廃棄物の収集運搬や中間処理で発生するCO₂を低減します。

- 廃棄物の収集運搬車および社用車は継続的に低公害車および最新規制適合車を導入し、エコドライブ講習の受講、自社独自のSDGsプロジェクトの推進、アイドリングストップへの積極的な取り組みにより、自社で化石燃料の使用に伴い排出されるCO₂を段階的に削減し、2030年度に、2018年度実績(原単位)に対し、CO₂総排出量を50%削減することを約束し、2050年までに実質ゼロを目指します。



気候変動対策への取り組みを積極的に推進します。

- 環境問題をテーマにした絵本を地域の保育園や幼稚園、小学校、ボランティア団体などに無料配布し、環境活動の啓発に取り組みます。
- 自社独自のSDGsプロジェクト「Sanyo ありがとうチャレンジ2030」を推進し、循環型社会の形成や脱炭素社会への貢献、CO₂削減など気候変動対策に積極的に取り組むとともに、従業員の環境意識の向上を図ります。
- 未来に希望を抱く子供たちに自然環境の大切さを学んでもらうため、対外的環境教育活動として実施しておりますSDGsスクールを全国に拡大し、活動の輪を広げ環境活動の啓発に取り組みます。
- SNSの活用による幅広い世代への積極的な情報発信を行い、環境活動の啓発に取り組みます。

三洋商事株式会社は、上記取り組みの進捗状況の確認および公表を行うとともに、その結果については環境省へ報告いたします。

三洋商事株式会社は
地球に「ありがとう」を伝える企業です。



SANYO SYOJI CO., LTD.
METALS RECYCLE SYSTEM